

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

官民学での縦割りへの提言、分野横断的な取り組みへのチャレンジ！

12 月 2 日(月)
シンポジウム開催！

かながわの海洋教育のこれから

～海と向き合う社会を目指して～

●横浜国立大学（学長：鈴木邦雄）統合的海洋教育・研究センターは 12 月 2 日にシンポジウムシリーズ「横浜から海洋文化を育む」の第 11 回として「かながわの海洋教育のこれから ～海と向き合う社会を目指して～」を開催いたします。

●海洋関連産業、漁業、レクリエーション、文化等、神奈川県は日本でも海とのかかわり合いが非常に強い地域ですが、一般市民の海洋リテラシー（海と人・社会が相互に影響を及ぼすことについての理解）は必ずしも高くありません。これまでの日本においては、官民学とも水産や港湾・海浜管理、海運、環境等の分野ごとに縦割りの的なものが多い、また、市民が海に親しむような取り組みはあまり行われていません。他方、総合的海洋管理を謳う海洋基本法成立後 6 年を経た今、地方自治体も新たな海に関する取り組みを展開しようとする機運が見られます。県内では子どもや一般市民に海と親しむ場を提供する試みが数多く実施されていますが、必ずしも広く知られていないのが現状です。そこで、海洋リテラシーの向上が及ぼす影響や期待される効果、一般市民が海に親しむ場の具体的な事例とその効果、海を活かした観光振興やまちづくりなどの参考となる情報を事例報告とパネルディスカッションを通じて提供します。

市民が海に親しむ場の具体的な事例、海を活かした観光振興やまちづくりの

参考となる情報を、講演とパネルディスカッションを通じて提供します。

■シンポジウムの概要

開催日：2013 年 12 月 2 日（月） 13:30～17:30

会 場：横浜市開港記念会館（横浜市中区本町 1 丁目 6 番地）

対 象：一般の方、大学生・大学院生、地方自治体職員、研究機関や NPO の職員等

参加費：無料 【お申し込み】

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター

e メール：kaiyo@ynu.ac.jp 電話：045-339-3067 Fax：045-339-3595

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 水井 涼太

電話・Fax 045-339-3595 e-mail: mizui@ynu.ac.jp

別途資料をご参照のうえ、是非ともご取材等をお願いいたします。



横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター
シンポジウム シリーズ「横浜から海洋文化を育む」第11回

かながわの海洋教育のこれから ～海と向き合う社会をめざして～

参加者募集
無料

■ 日時：2013年12月2日（月） 13:30～17:30

■ 会場：横浜市開港記念館（みなとみらい線 日本大通り駅下車徒歩1分）

■ 基調講演：「海洋教育への期待とこれから」

窪川かおる 氏（東京大学海洋教育促進研究センター 特任教授）

■ 事例紹介：「子供を対象とした海辺におけるウォーターセーフティプログラム事例について」

風間隆宏 氏（特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ 理事）

「市民参加の沿岸環境保全活動について」

工藤孝浩 氏（神奈川県水産技術センター 主任研究員）

「海苔づくり体験学習について」

石田猛 氏（特定非営利活動法人ともに浜をつくる会 理事長）

「海を学び、海に親しむ場づくりについて」

山本真土 氏（真鶴町立遠藤貝類博物館 学芸員）

「横浜国立大学の海洋教育のこれからについて」

水井涼太（横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 特任教員）

■ パネルディスカッション：「かながわの海洋教育のこれから」

パネラー：基調講演・事例紹介講師

コーディネーター：水井涼太（横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 特任教員）

お申し込み：

HPからお申し込みください。

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター
<http://www.cosie.ynu.ac.jp>

お問い合わせ：045-339-3067

主催：横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター

助成：日本財団

後援（予定）：神奈川県、横浜市、真鶴町教育委員会、（独）海洋研究開発機構、（独）水産総合研究センター、
神奈川新聞、横浜港振興協会、tvk（テレビ神奈川）、FMヨコハマ、特定非営利活動法人ともに浜をつくる会、
特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION